

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。マタイ 5:9

被爆79年

# 長崎原爆記念礼拝 〈聖餐式〉

すべての被爆者を覚えて  
主の平和の実現のために

長崎で被爆したあきづきたついちろう秋月辰一郎医師は、原爆が落とされたところから日に日に「死の同心円」が広がっていく、と表現しました。

私たちは、原爆の犠牲になった全ての人々の命を覚え、また今なお後遺症に苦しむ人々の叫びに耳を傾け、この長崎から「平和の同心円」が広がっていくように祈ります。この日、長崎で共に祈りましょう。

長崎にお越しになれない方も、それぞれの場所で、この日この時、ご一緒に祈りをお捧げいただければ幸いです。

**日時：2024年8月9日（金）10:30～**

**会場：日本聖公会長崎聖三一教会**

## — プログラム —

10:30 長崎原爆記念礼拝・聖餐式

司式・説教：主教ルカ武藤謙一（九州教区主教）

共同司式：主教ダビデ上原榮正（沖縄教区主教）

共同司式：主教オーガスチン小林尚明（神戸教区主教）

※原爆投下時刻の11時2分にあわせて黙禱を献げます。

12:00 昼食

13:00 平和プログラム 被爆証言

被爆証言講師：森内 實 さん

## — 被爆証言講師 —

もりうち みのる 森内 實 さん（長崎原爆被災者協議会 理事）

1937年生まれ。8才のとき、爆心地から約4.8km離れた西彼杵郡長与町で被爆。さらに2日後、親戚を捜しに行く母に連れられ、爆心地から0.4km離れた大橋町に行き、入市被爆した。

原爆認定集団訴訟（全国306名・2011年終結）の長崎原告団長を務められた。

平和を願い、被爆体験を語る活動を行っている。